



数ある農産物の中から当農場の商品をお届けできることを嬉しく思います  
もりかわ農場の【今】をお届けいたします (\*^-\*)

## ★塩水選（えんすいせん）

揃った良い苗を育てる為に、良い種子を選びます。  
作業をする前に塩分濃度のチェックを必ず行います。  
塩分濃度のチェックができれば、種籾（たねもみ）  
を塩水に漬け、優しくかき混ぜます。



比重の軽い充実していない種籾は、浮いてくるのでそれを取り除きます。  
沈んでいる実のつまった種籾をザルに移し、塩気を落とす為に水で何度も洗います。  
塩気が残っていると苗の生育に悪影響（塩害）を及ぼすので、丁寧にしっかりと  
洗います。洗い終わったら籾をネットに入れてしばらくパレットの上に置きます。



次に、乾燥機に入れ、籾を乾燥させていきます。  
ファンで風を送り、籾の入ったネットをひっくり  
返しなが、まんべんなく乾燥させていきます。



## ★土づくり

美味しいお米を作る為に重要な土づくり。  
籾殻（もみがら）やミネラル、鶏糞等の資材を撒いています。



JAS有機オーガニックコシヒカリと無農薬コシヒカリの圃場（田んぼ）には  
稲わら、籾殻、大豆クズ等の有機資材を撒いています。

1枚1枚圃場の特徴がそれぞれ違うので、圃場の特徴を見極めながら（土壌診断）  
土づくりをしています。

## ★麦の除草作業



麦に除草剤がかからないように除草剤を散布しています。  
除草剤の使用量、歩く速度にも気を付け撒きムラがないように作業を行っています。

### 【編集後記】

暖かい春を迎え、もりかわ農場では春作業がはじまりました。  
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、私たちの生活に様々な影響を与えています。  
いつまでこの状況が続くのかわかりませんが、極力外出を避け、手洗い、うがいの  
予防はしっかりしていこうと思います。